

第1回リニア駅周辺整備検討会議の報告

1 会議内容

- (1) 会議設置要綱の確認
- (2) 会長及び副会長の選出
- (3) リニア関連道路整備事業の状況報告
- (4) リニア駅周辺整備基本構想の確認
- (5) 基本計画の概要説明及び進め方について

2 主な意見の概要

全体事項

- ・基本構想で掲げた内容を前提に議論を進める必要がある。
- ・地域全体の経済発展とリニア事業をリンクさせるため、別組織での検討が必要である。
- ・長野県全体として誇れるような駅機能や魅力づくりが必要である。
- ・飯田という地域を全国的に広めるチャンスである。
- ・地域の活性化には、民間事業者の資本が必要であり、民間事業者が具体的なイメージを持てるように、様々なことを決める必要がある。
- ・何かを造る場合、建設・運営の主体や費用を頭に入れておく必要がある。

整備予定区域

- ・道の駅のように、駅前にすべてを抱え込まない整備をしたらどうか。
- ・狭い意味での整備区域として、7.8haは妥当な規模である。
- ・駅周辺をコンパクトに整備するためには、乗降客数を決めることが重要である。
- ・整備予定区域を決定後に他の課題を整理する場合、整備予定区域が変更となりうるが、柔軟に対応するべきである。
- ・技術的な観点等から整理を行っていくのはよいと思う。

会議等の運営方法

- ・会議の進め方、部会の構成メンバーなどは関係機関と十分に調整する必要がある。
- ・駅前に抱え込まない要素は、長い期間で議論ができると思う。

トランジットハブ・道路ネットワーク

- ・長野県駅の利用規模及び範囲を決定することが重要である。
- ・想定乗降客数の精度が重要である。
- ・拠点間のアクセスには鉄道やバスなどの公共交通が必要である。
- ・レンタカー利用を想定した検討をしてほしい。
- ・三遠南信自動車道路とリニア駅のアクセス性を高めて頂きたい。
- ・アクセス性がよければ、広範囲に移動できるので、広域的な発展を考える必要がある。

(裏面に続く)

環境・景観

- ・誰にとっての「らしさ」であるかを検討する必要がある。
- ・リピーターを増やすためには、地域住民の顔や言葉（活気ある様子）が必要であるので、地域住民に配慮してほしい。
- ・優良農地がなくなることや、農業後継者がいなくなることによる不安を感じている。
- ・地域交流の中で、他地域から自然を大切にしてほしいと言われている。

交流人口の増

- ・基本構想で掲げた基本方針4は基本方針3が前提である。
- ・ヘリコプター観光など、思い切った取り組みを行ったらどうか。
- ・遺跡や史跡を加味した整備をすれば、交流人口が増えると思う。
- ・駅周辺整備による恩恵は小さいので、こういうものを作れば観光振興策になるという発想ではなく、別の視点で考える必要がある。